

トルコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

足元の運用状況と今後の見通し

2023年7月11日

平素は、当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

足元の運用状況や今後の見通しについてお知らせいたします。

金利上昇やトルコ・リラ安により、足元の基準価額は下落傾向

基準価額の変動要因分解（直近1ヵ月：2023年5月末～6月末）

基準価額(円)		変動額(円)	債券要因	為替要因	分配金要因	運用管理費用 要因等
2023/5/31	2023/6/30					
914	708	-206	-48	-152	-5	-1

基準価額の変動要因分解（直近3ヵ月：2023年3月末～6月末）

基準価額(円)		変動額(円)	債券要因	為替要因	分配金要因	運用管理費用 要因等
2023/3/31	2023/6/30					
912	708	-204	-11	-174	-15	-4

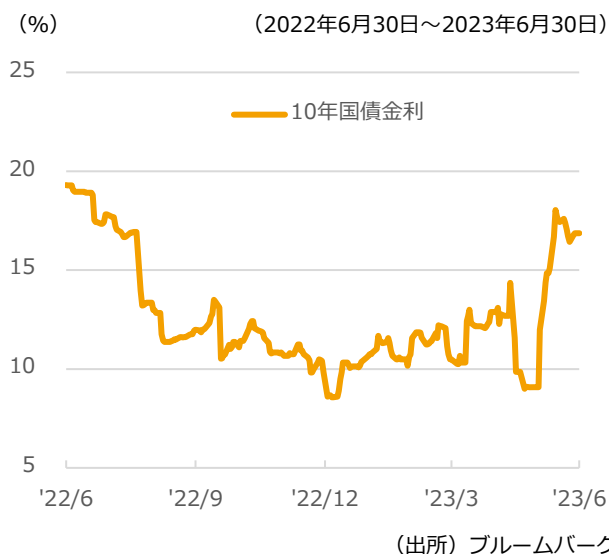
直近1ヵ月、直近3ヵ月につきましては、投資する債券の利息収入がプラス要因となったものの、債券価格が下落（金利は上昇）したことや、トルコ・リラが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

足元の市場環境

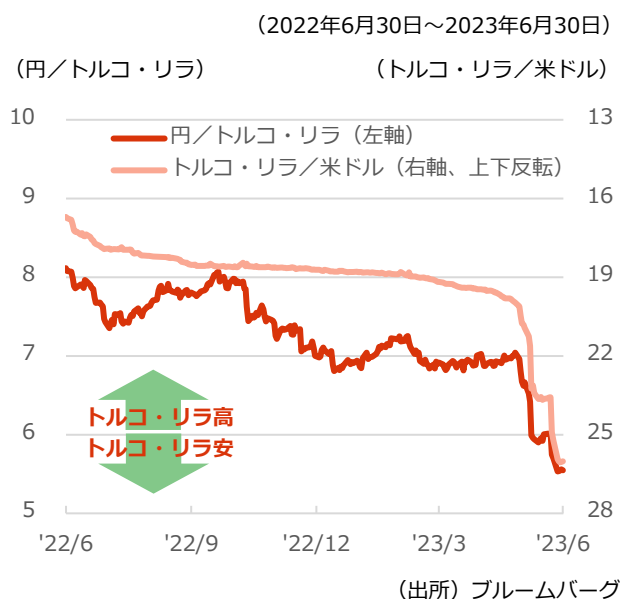
2023年3月末から6月末までのトルコの債券価格は、下落（金利は上昇）しました。5月の大統領選に向けて野党連合が結集し、政権交代機運が高まったことから、伝統的な金融政策（利上げによる金融引き締め）への期待が強まり、3月末から国債金利は上昇基調となりました。その後、5月半ばの大統領選第1回投票でエルドアン氏が優勢となり、国債金利は一時的に低下したものの、エルドアン大統領就任後は、利上げによる金融引き締め政策を実行するとの思惑から、国債金利は大きく上昇しました。また、これまで国内金融機関に課してきた国債保有義務の規制緩和が意識されたことも、国債金利の上昇要因となりました。

トルコ・リラについては、2023年3月末から6月末までの3カ月間で、対円で下落となりました。国営銀行を通じた為替介入もあり、5月後半まではトルコ・リラは対円で横ばいに推移しましたが、エルドアン大統領就任後に、為替市場への介入を抑制するとの報道から、トルコ・リラは対円で大きく下落しました。その後、トルコ中央銀行による利上げ幅が市場予想に届かない結果となったことも、トルコ・リラの下落幅を拡大させました。

国債金利の推移



為替の推移



今後の見通しと運用方針

今後について、エルドアン大統領就任後の金融政策や為替介入等の方針転換に伴う混乱は当面続く可能性がります。トルコ・リラ安の影響もあり、トルコ国内の消費者物価指数（前年同月比）が中央銀行のインフレ目標を著しく上回る中、政策金利の段階的な引き上げが今後予想されます。ただし、市場が期待する大幅な利上げの実現にはしばらく時間がかかることが想定され、トルコ・リラ安と国債金利の上昇の継続により、トルコ国債への投資において為替調整後でプラスのリターンを安定して獲得するのは難しくそうです。

一方で、トルコ・リラ建ての国際機関債などには国債を大幅に上回る金利水準になっている銘柄も見受けられます。これは国際機関債がトルコ中銀による債券買い入れの対象外となっていることなどが要因とみられます。また、オーソドックスな経済・金融政策に回帰すれば、国債金利と国際機関債金利のスプレッド（利回り格差）の縮小により、国際機関債が国債対比で良好なリターンとなることが想定されます。流動性の低さには注意が必要ですが、ポートフォリオに国際機関債を組み入れることで、期待リターンの改善につながると考えられます。

トルコの国債やトルコ・リラ建ての国際機関債の金利水準は先進国と比べて相対的に高く、債券の金利収入の安定的な積み上げにより、債券価格や為替の変動に一定のクッションとなることが期待されます。当ファンドでは、引き続きトルコ国債やトルコ・リラ建ての国際機関債に投資し、相対的に高利回りを享受する債券ポートフォリオを基本として運用を行ってまいります。

ポートフォリオの状況（2023年6月末時点）

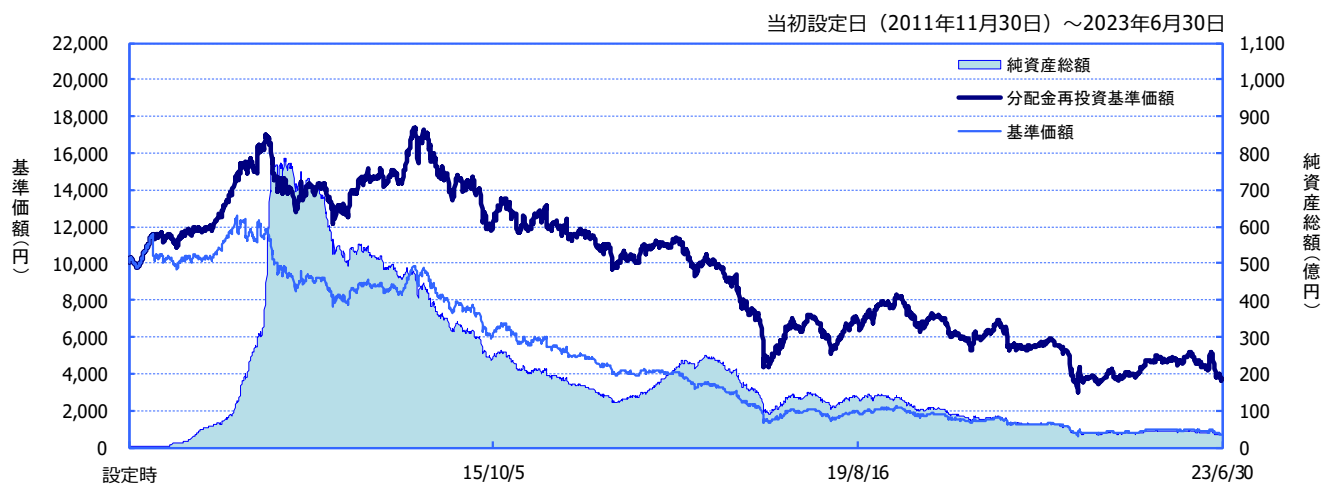
《主要な資産の状況》 ※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成			債券 種別構成		債券 ポートフォリオ特性値	
資産	銘柄数	比率	種別	比率	直接利回り(%)	14.7
外国債券	13	84.1%	国債	60.6%	最終利回り(%)	17.1
			国際機関債	23.5%	修正デュレーション	2.6
コール・ローン、その他※		15.9%			残存年数	3.9
合計	13	100.0%				
※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。			債券 格付別構成		※債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値（直接利回り、最終利回り等）を、その組入比率で加重平均したものです。	
通貨別構成			格付別		※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。	
通貨	合計100.0%		格付別	比率	※債券 格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。	
トルコ・リラ		96.6%	AAA	22.5%		
日本円		3.4%	AA	5.4%		
			A	---		
			BBB	---		
			BB	72.1%		
			B以下	---		

組入上位10銘柄					合計81.9%
銘柄名	種類	利率(%)	償還日	比率	
Turkey Government Bond	トルコ国債	10.5	2027/08/11	21.3%	
TURKEY GOVERNMENT BOND	トルコ国債	20.2	2027/06/09	14.9%	
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	国際機関債	12	2025/10/01	9.7%	
TURKEY GOVERNMENT BOND	トルコ国債	21.5	2032/04/28	9.6%	
Turkey Government Bond	トルコ国債	2.7	2026/01/14	8.8%	
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	国際機関債	13	2024/01/19	5.5%	
CORP ANDINA DE FOMENTO	国際機関債	32.5	2026/01/30	4.6%	
Turkey Government Bond	トルコ国債	11.7	2030/11/13	4.5%	
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	国際機関債	---	2024/03/01	1.9%	
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	国際機関債	8.5	2024/02/14	1.1%	

基準価額・純資産の推移 (2023年6月末時点)

基準価額	708 円
純資産総額	33億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

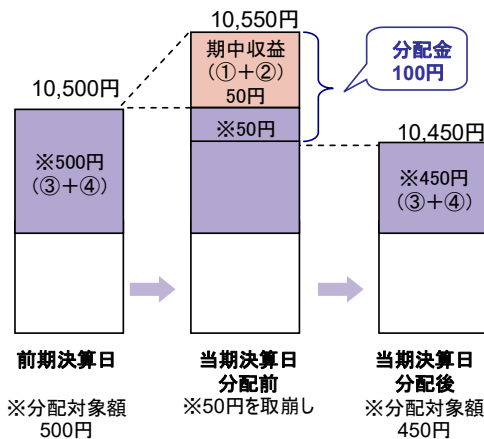
投資信託で分配金が支払われるイメージ



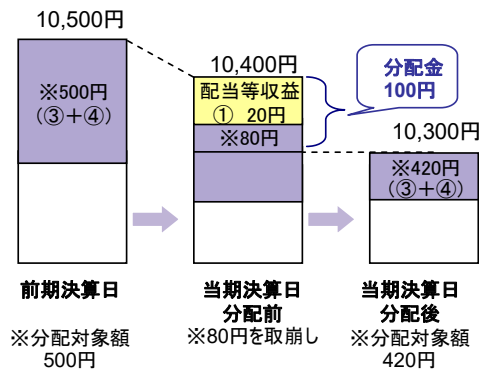
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



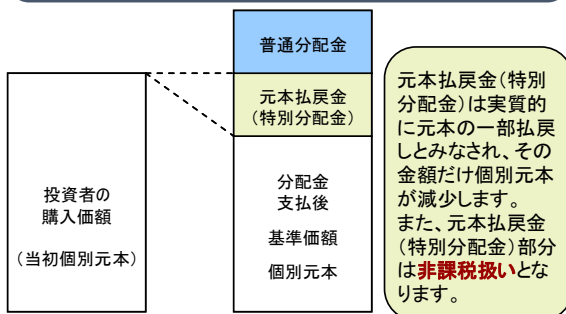
前期決算日から基準価額が下落した場合



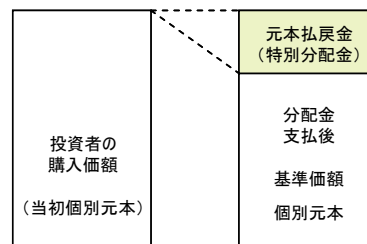
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- トルコ・リラ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. トルコ・リラ建債券に投資します。
 - ◆ 投資対象は、トルコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。
 - ◆ 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - ◆ 債券の運用の一部は、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行ないます。
 - ◆ 外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
 2. 毎月 22 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「トルコ・ボンド・マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

■ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

- トルコ市場における債券投資に関する留意点
トルコ共和国における宗教上の休日の時期にあたる場合、10 日間（休業日を含みます。）以上にわたり当ファンドの購入・換金のお申込みができない日が続く場合があります。

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.474% (税抜 1.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

トルコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○	○		
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○			
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○	○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○		
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○	○		
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○		○
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
寿証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第7号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。